



02



03



04



05



06

# FIRE MAN SPIRITS・FIRE MAN

## 命のためにできること

消防署の隊員は、いつでもどこで発生するかも知れない災害事案に対して、3交代制24時間の勤務体制で出動に備えています。

待機時間には、多種多様な災害に対応できるように訓練を実施しています。訓練には大規模災害が起きたことを想定し、救助方法を展開する図上訓練もありますが、基本は体を使ったロープブリッジ渡過訓練、引揚救助訓練など、実際の災害現場を想定した訓練を実施しています。

訓練では「使命は救助」を胸に隊員一丸となり取り組んでおり、一秒でも早く要救助者の元へ行き、迅速かつ的確に救助できる技術の習得に力を注いでいます。

都市部の消防職員は、救急・救助・消防がそれぞれ役割分担が決められて活動しているのが一般的です。



## しかし御前

崎市の場合は何役もこなす消防士が求められます。一人の消防士が救助隊員として水難事故に対応するため水難訓練を実施したり、救急隊員として必要な救命処置の技術を習得したり、消防隊員として放水訓練などを実施すること、どんな事案にも対応できる職員の養成に力を注いでいます。

ある新人消防職員は、「訓練は厳しいがやりがいのある仕事です。何よりも人命に関わるレスキューや救急救命士として役に立ちたい。消防士として働くことは小学生の頃からの夢でした」と意気込みを語る。

0120名の救出ロープを伝って要救助者のもとへ向かう。02放水は状況に応じて瞬時に判断する。03要救助者を引き揚げるため懸命にロープを引く。04進入路を確保するため切断器具で障害物を切断する。05交通事故現場を想定した救出訓練。06約10名の装備を付け高所から降下する。

# 共に命をうけなぐ